

◆とちぎ米通信【8月号】◆

とちぎのおこめ

I. 栃木米販売促進情報

1. キャンペーン・PR情報

(1) エコープ関東の店舗で販促活動実施！

7月29日（金）～7月31日（日）に、城山店をはじめとする11店舗で「試食販売」を実施しました！「稲刈りルンルンキャンペーン」を実施しているエコープ関東の店舗ということもあり、栃木県産米を知っている来店者が多くいました。また、今回のキャンペーンをきっかけに、初めて購入していただいた来店者もあり、多くの方々にPRができた機会になりました。



※上記以外に、食品館あおばでも、7月10日（日）に川崎富士見店、7月24日（日）に辻堂店を含む9店舗で販促活動を実施しています

(2) とちぎのお米 う米♪う米♪キャンペーン2016終了！

6月30日（木）で終了した「3銘柄特A獲得記念キャンペーン」の抽選会を実施しました。新規店舗での取組拡大や日生協等での早期スタートにより、応募総数は昨年より大幅に増え、43,539通になり、好評のうちに終了しました（前年比211%）。



(3) 稲刈りキャンペーンについて

28年産米の販売開始に向けた稲刈りツアーを賞品としたキャンペーンを「いなげや」と「エコープ」、そして「アマゾン」で実施しています。消費者に対して、直接、産地PRをできる数少ない機会です。生産者・JAの方々のご協力をよろしくお願いいたします。



(4) パワフルアグリフェアのお弁当について

7月23日（土）～24日（日）にパワフルアグリフェアが開催されました。23日のお弁当は、昨年に引き続き、栃木県産コシヒカリを使用いただいている群馬県の登利平さんの有名な「鳥めし弁当」でした。今後もご賞味頂けますようお願いいたします。



2. 27年産米販売情勢

(1) 27年産米契約状況について

7月末時点での27年産米契約数量は101,887トン（契約率99%、6月末から変動無し）となっています。

一方、主食うるち米の実販売（出庫）については、7月単月で9,013トンが販売になり、7月末累計で48,501トンに積み上がりました。6月までの状況と比べると、単月の数量は伸びましたが、販売進捗はまだまだ改善されてはいません（出荷進捗48%、7月末の全国平均72%）。厳しい販売状況ですが、進捗が遅い卸を中心に早期引取の商談を強化していきます。

(2) 28年産米の推進について

7月は、28年産米の収穫前契約について、第3回目の条件提示が行われました。今回、提示した県本部は、青森・秋田・山形・福島・茨城・千葉・新潟・三重など19県です。全農全体としては、生産調整の強化や出荷契約数減などにより、目標の120万トンに届くか不透明な状況になっています。

栃木では、5月にコシヒカリを提示し、7月になすひかり・とちぎの星・あさひの夢を追加提示しました。7月29日（金）に卸からの申込を締切り、集計した結果、ほぼ提案通りの申込数量を確認できました。また、複数年契約に対しても、目標の10,000トンを大幅に超える数量の申込がありました。

今後、各卸との意見交換を行い、条件の良い販売に繋がるよう推進を行っていきます。

(あとがき) 28年産米の事前契約（収穫前・複数年契約）の提案が終わり、各卸からほぼ満額の回答をいただいております。しかし、各卸の希望数量には届いておらず、数量上積みの強い要望をいただいております。コシヒカリ・なすひかり・とちぎの星・あさひの夢について、改めて、集荷数量の積み上げをよろしくお願いいたします！

※ 問い合わせ先 ※

◆内容に関するご意見・ご質問・ご感想も是非お寄せください。

JA全農とちぎ 米麦部 米穀課

電話:028-616-8820 FAX:028-616-8828

